

「信州型コミュニティスクール促進事業」について

Q1	信州型コミュニティスクールとは
A1	地域住民や保護者が、学校運営参画と協働活動、学校関係者評価を一体的に行う長野県独自の仕組みを備えた学校。
Q2	信州型コミュニティスクールの目指すもの
A2	学校・家庭・地域が対等な関係のもと、地域住民や保護者の持続的な学校運営への参画や協働活動が行われることにより、子どもたちの豊かな成長を支える、「地域と共にある学校づくり」を推進する。
Q3	何が「信州型」なのか
A3	地域住民や保護者が、学校運営参画・協働活動・学校関係者評価を一体的に行う仕組みであり、国が進めるコミュニティ・スクールの学校運営参画をねらいとする学校運営協議会制度と、協働活動を中心とする地域学校協働本部の利点を組み合わせたものである。
Q4	信州型コミュニティスクールの良さとは
A4	学校運営参画と協働活動、学校関係者評価を一体的に行うことは、学校との関りを通じて学校や子どもたちのことをよく理解した地域の方に、学校運営や目指す子ども像について意見を出してもらったり、学校関係者評価をしてもらったりすることになり、学校改善がより進むことになる。そうした意見や評価を踏まえて地域住民の皆さんが活動することになるので協働活動がさらに充実することになり、3つの機能の相乗効果が生まれていく。 また、学校と地域住民との対等な立場での信頼関係がさらに深まっていく。
Q5	信州型コミュニティスクールとコミュニティ・スクールの違いは
A5	信州型コミュニティスクールでは学校運営委員を学校長が任命することになる。そして、学校運営委員会は法的な権限を持たない。 国が進めるコミュニティ・スクールは市町村教育委員会が規則を定める学校運営協議会を設置し、学校運営協議会での学校運営についての意見や承認、人事にかかわる意見等の権限を法律で裏付けているものになる。
Q6	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）ではダメなのか
A6	信州型コミュニティスクールも国が進めているコミュニティ・スクールも学校職員と地域住民が協働した「地域と共にある学校づくり」を目指すための仕組みであると考えている。 長野県としては、国が進めるコミュニティ・スクールも信州型コミュニティスクールの1つと捉えている。そのため、国の進めるコミュニティ・スクールを設置する市町村や学校への支援も行う。

Q7	コーディネーターの役割は
A7	<p>学校からの要望を受けて、ボランティアを探したり、調整したりするのはもちろんだが、単に学校支援のみの役割ではなく、地域の要望と学校の要望をマッチングさせながら様々な協働活動を提案していつてもらいたい。</p> <p>また、地域全体で子どもを育てていく気運を盛り上げる広報・啓発活動にも取り組んでいただきたいと考えている。</p>

Q8	学校運営参画とは具体的にどのようなことか
A8	<p>学校職員と地域住民が、学校の重点や抱える課題、地域における子どもの様子について話し合うことを通して、将来を見据えた「目指す子ども像」の共通理解を深めるための熟議の場を設け、学校関係者がお互い対等な立場で意見を述べ合う機会を年間複数回つくる。</p>

Q9	学習支援をする方もいるが、個人情報を守られるのか
A9	<p>当然、事前に注意事項として、個人情報の取扱いについて説明し、承諾してもらう必要がある。ボランティアの規則を設け、ボランティアルームの見えるところや名札カードの裏側に記載してわかるようにしている学校もある。こうした規則を徹底するには、各ボランティアの代表が集まるような組織がある方が徹底しやすい。</p> <p>また、県としてボランティアを対象とした研修会を実施しているので多くの方に活用してもらいたい。</p>

Q10	市町村教育委員会の役割は
A10	<p>コーディネーターの配置、運営委員会の設置、運営状況の評価や検証、ボランティアの募集・登録、地域への啓発等、実施運営の中心として学校の支援をしていただきたいと考えている。</p> <p>市町村型のコミュニティスクールを実践している市町村があるが、県としてそれらの取組への支援を行う。</p>